

平成29年度 学校関係者評価報告書

学校法人有坂中央学園
中央農業グリーン専門学校

学校関係者評価委員会

学校法人有坂中央学園 学校関係者評価委員会は「平成28年度自己点検・自己評価報告書」の結果に基づいて学校関係者評価を平成29年 8月26日に実施したので、下記のとおり報告します。

1. 学校関係者評価委員

- 業界関係者：須藤 泰人((有)ロマンティックデーリーファーム)
 業界関係者：竹内 佳晴 (群馬の食文化研究会)
 卒業生：栗原 諒雅
 保護者：吉田 宏

2. 平成28年度自己点検・自己評価における学校関係者評価(中央農業グリーン専門学校)

評価項目	評価	評価に対する今後の学校の取組等
1 教育理念・目標	<ul style="list-style-type: none"> ●建学の精神のもと、教育理念・目標を定め、社会のニーズに対応した社会人の育成に努力している。 ●学生の多様化に対応できる教育体制、学習意欲の維持向上の取り組みが行われている。 ●保護者等に対して、ホームページや学園新聞等を利用した情報開示、情報共有されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○社会のニーズに呼应し、平成30年度に向けて、中央農業大学校へ校名を変更し、学びながら働く実践的な2年間・4年間のファーム農業経営学科を設置する。 ○保護者等に対し、学校への理解をより一層深めてもらうため、情報開示ガイドラインに沿ったホームページ等での学校情報の開示内容を見直し、適宜更新していく。
2. 学校運営	<ul style="list-style-type: none"> ●運営方針及び事業計画が策定されており、また運営組織やその意志決定の過程も明らかになっている。 ●業界や地域社会に対するコンプライアンス体制の整備を充実し、教職員への周知徹底がなされている。 ●教育活動に関する情報公開がなされている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○社会の先を見据えた学科編成、学校経営を考えていく。 ○法令倫理に則った適切なコンプライアンス体制を構築し、それらを共通認識として共有することで法令遵守を徹底していく。 ○HPやSNSなどを駆使し、幅広く教育活動の様子や食の農に関するトピックスなどを発信していく。
3. 教育活動	<ul style="list-style-type: none"> ●教育課程の編成・実施方針等が策定され 	<ul style="list-style-type: none"> ○業界・社会が求める実践力を持

	<p>ており、職業教育・キャリア教育の視点 に立った体系的なカリキュラムが編成 されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●関連企業・団体との連携により、カリキュラムが工夫され、実践的な職業教育が体系的になされている。 ●成績評価、卒業基準等も明確である。 ●社会の変化に伴った取り組みに対し、教職員の人材不足、知識の向上の必要性などの課題もあるのではないかと。(須藤) 	<p>った社会人を育成するための方策を議論し、企業や実習先の講師による特別授業の実施など、業界や企業等と連携したより実践的な技能を身につける教育に取り組んでいく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○教職員の研修なども積極的に取り組み、学校の変化とともに成長できる人材の育成、確保に努める。 ○教職員の増員・人材確保も目指していく。
4. 学習成果	<ul style="list-style-type: none"> ●資格取得に向け、効率的な学習を図っている。また、授業時間外（放課後や休日など）の自主学習に向け、学習指導を行っている。 ●卒業生からの報告をもとに卒業後の動向（定着率・離職率）を把握し、得られた情報を職員間で共有するとともに、就職指導、卒業後のキャリア形成への教育活動に活かしている。 ●平成 28 年度の退学者の退学理由は何か。(吉田) 学力差が生じていることは理由になっていないかと。(須藤) 	<ul style="list-style-type: none"> ○各授業での目標設定や担任面談を通じて資格取得のためのモチベーションの維持を図る。 ○卒業後の動向、業界関係の情報収集に努め教育内容を精査するとともに、それらの情報を在校生並びに保護者等に提供していく。 ○退学は人間関係による進路変更が主な要因となっている。退学前には欠席が多くなることから、欠席の続く学生に対しては家庭との連携を強め、担任から教務次長、副校長まで段階をふむよう面談を行っている。今後も継続し、早めに、学生のシグナルをつかめるよう努める。
5. 学生支援	<ul style="list-style-type: none"> ●担任を中心に、インターンシップの実施や学生相談、キャリアサポートなど対応している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学生個々の状況に応じて適切に対応する体制を充実していく。 ○朝礼や終礼、会議を通じて教職員間における情報共有を行い、各部署の学生対応を行っていく。 ○保護者との密な連携を図り、学校教育への理解を促進していく。
6. 社会的活動	<ul style="list-style-type: none"> ●地域活動や地域貢献、ボランティア活動への取り組みが継続的に実施されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○有志によるボランティア部を創設し、地域の各活動を支援するとともに地域との交流をめざし、実施していく。
7. 管理運営	<ul style="list-style-type: none"> ●専修学校各種学校の規定に則り、適切に 	<ul style="list-style-type: none"> ○教育成果を含めた具体的な学校情報

	運営が行われている。	を公開することで学校への理解を促進していく。
8. 財務	<ul style="list-style-type: none"> ●財務体質が健全であり、適切な財務運営が行われている。 ●財務評価は常に適正であるべきであり、そう努めてほしい（栗原） 	<ul style="list-style-type: none"> ○情報公開に努めながら、健全な学校運営に引き続き取り組んで聞く。 ○安定した学校経営のため、入学者数の確保にむけた募集活動の強化、退学率の低減に努める。
9.法令の順守	<ul style="list-style-type: none"> ●法令を順守し、自己点検、自己評価を行うとともに、情報公開している。 ●個人情報の取り扱いに留意している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○今後、遅滞の無いよう随時情報公開に努める。 ○SNSや学園新聞などにおける個人情報の公開は、学生本人に確認を取り、その取扱いに充分注意をする。
10. 社会貢献・地域活動	<ul style="list-style-type: none"> ●地域活動や地域貢献、ボランティア活動への取り組みが継続的に実施されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○有志によるボランティア部を創設し、地域の各活動を支援するとともに地域との交流をめざし、実施していく。
11. 国際交流	<ul style="list-style-type: none"> ●グローバル化に対応できる人材育成をどのように行っていくか検討していく。 ●留学生の受け入れについて、検討していく。 ●グループ校の留学生の状況は？（須藤） 	<ul style="list-style-type: none"> ○他のグループ校では留学生の受け入れが行われており、本校は留学生への米や野菜の提供をおこなっている。今後、本校でも留学生の入学の可能性もあり、就職先の確保など情報収集につとめる。

3. 総評

上記11項目に対し、委員による評価は良好であったことから、中央農業グリーン専門学校の教育活動、学校運営は概ね高い水準で維持されていると評価する。しかし、時代の変化に合わせた学校教育内容の変化に教職員の人材不足、専門性について問われる声があった。今後は実践的な教育内容の整備にむけ、ご意見に応えるよう、教育の質の向上に一層の努力を望みます。

以上